

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
学習・言語心理学		必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
柁木 隆寿	B306	t.masaki	木曜日 14:40~17:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 本講義では学習心理学、言語心理学に関する知識を習得し、日常生活および臨床場面における様々な行動・心理現象を心理学的観点から理解できるようになることを目的とする。</p> <p>〈概要〉 様々な心の機能がある中で、本講義では「学習」と「言語」という私たちの日常生活に直結したテーマを扱う。ただし、「学習」は学校で行う勉強という狭い範囲ではなく、動物全般が環境にどのように適応し行動を変容していくかという広い視点での内容となる。また、これらの心理機能の障害についても解説を行う。</p>				
学習上の助言	毎回講義に出席し、積極的な態度で受講することを望む。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	学習・言語心理学 / 編: 郷式 徹 他 / ミネルヴァ書房 学習と言語の心理学 / 著: 中島 定彦 / 昭和堂				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	基本的な学習理論について理解し、具体例を用いてそれを説明することができる。			WP(2)、(3)、(5)	
②	様々な問題行動の原因について、学習理論の観点から考察することができる。			WP(2)、(3)、(5)	
③	言語の発生、獲得について理解し、説明することができる。			WP(2)、(3)、(5)	
④	言語に関する諸理論を理解し、説明することができる。			WP(2)、(3)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。学習心理学と言語心理学がどのような学問なのかを学ぶ。	講義	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	3.5	
2	生得的行動、初期学習、馴化と鋭敏化について学ぶ。	講義	配付資料を熟読し、各専門用語の意味を覚える。	3.5	
3	古典的条件づけについて学ぶ (1)。	講義	古典的条件づけに関する専門用語を覚え、多彩な日常例を説明できるようにする。	3.5	
4	古典的条件づけについて学ぶ (2)。	講義		3.5	
5	オペラント条件づけについて学ぶ (1)。	講義	オペラント条件づけに関する専門用語を覚え、多彩な日常例を説明できるようにする。	3.5	
6	オペラント条件づけについて学ぶ (2)。	講義・演習		3.5	
7	古典的条件づけとオペラント条件づけの応用について学ぶ。	講義	各条件づけの整理を行い、応用例を考える。	3.5	
8	運動学習、洞察学習、観察学習について学ぶ。	講義・演習	配付資料を熟読し、各学習の特徴をまとめる。	3.5	
9	学習と動機づけについて学ぶ。	講義	資料をもとに日常例を考え、専門用語の意味を覚える。	3.5	
10	言語の発生基盤について学ぶ。	講義	配付資料を熟読し、各専門用語の意味を覚える。	3.5	
11	言語の構造について学ぶ。	講義	配付資料を熟読し、各専門用語の意味を覚える。	3.5	
12	言語の獲得について学ぶ (1)。	講義	配付資料を熟読し、各専門用語の意味を覚える。	3.5	
13	言語の獲得について学ぶ (2)。	講義	配付資料を熟読し、各専門用語の意味を覚える。	4	
14	学習と言語の障害について学ぶ。	講義	実際の症例を自ら調べまとめる。	6	
15	本講義全体を振り返り、今後の展開について学ぶ。	講義	配付資料をもとに本講義で得た知識・技術を整理する。	8	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。学習理論、言語理論に関する専門用語を正しく理解しておく必要がある。ただの暗記ではなく、多様な日常例について専門用語を用いて自ら説明できることが高い評価につながる。				学内掲示および Microsoft Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の講義でリアクションペーパーの提出を求め、その内容を評価する。リアクションペーパーには講義中に出される課題への解答、および講義内容に対する理解、発見、疑問などのコメントを記述することになる。内容の妥当性や、問題発見能力を評価する。				学内掲示および Microsoft Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>本講義は公認心理師取得のために必要な科目「学習・言語心理学」に対応した科目である。資格取得を目指さない学生も、心理学的視点を身に付け社会で活躍するためには重要な科目であるので、積極的に内容理解に努めることを期待する。</p> <p>Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。</p> <p>また、全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>実践的授業の内容：各講義中に視聴覚資料の閲覧だけでなく、実験や調査をグループワークとして体験することがある。その体験内容や、準備学習で調べてきた事項について簡単なディスカッションなども行い、知識の定着を図る。</p>							